

イスラエル経済月報（2021年7月）

在イスラエル日本国大使館（担当：経済班 友澤 孝規）

<目次>

イスラエルの動き（主な報道）	2
主要経済指標.....	6
1. 経済成長率（GDP）	
2. 貿易(Export & Import of Goods)	
3. 失業率（Unemployment Rate）	
4. 消費者物価指数（CPI）	
5. 政策金利（Interest Rate）	
6. 為替（Exchange Rate）	
7. 外貨準備高（Foreign Reserve）	
8. 主要株価推移（TA35）	
イスラエル 経済関係.....	11
スタートアップ ° イスラエルのハイテク産業がまた新たな記録を樹立、2021年上半期に119億ドルを調達	
マクロ経済 フィッチ、イスラエルのA+格付けを再確認、2021年の成長率を5.5%と予想	
日本-イスラエル 経済関係.....	14
人事 ソフトバンク、イスラエル支社長に元モサド長官を起用	
宇宙 日本の宇宙開発企業アイスペース、イスラエル企業と提携	
企業進出 NTT、イスラエルに技術探索拠点を設立	
ファンド組成 コランダム・イノベーション、イスラエルのスタートアップを投資対象とする2号ファンドの組成を開始	
イスラエルにおける展示会・国際会議等の予定（目次掲載は主要なもののみ）	19
NEW! インフラ INFRASTRUCTURES FOR NEW PARTNERSHIPS CONFERENCE (2021年8月11日、テルアビブ)	
モビリティ SMART MOBILITY SUMMIT 2021 (2021年11月8~9日、場所未定)	
NEW! 防衛 ISDEF2021 (2021年11月9~11日、テルアビブ)	
NEW! サイバーセキュリティ CYBERTECH GLOBAL TEL AVIV 2022 (2022年1月25~27日、テルアビブ)	
スタートアップ ° 2022 OURCROWD GLOBAL INVESTOR SUMMIT (2022年3月9日、エルサレム/オンライン)	
日本における関連イベントの予定（目次掲載は主要なもののみ）	25
NEW! 食品 Webinar : APAC 市場向けイスラエル産代替プロテイン (2021年8月19日、オンライン)	
NEW! スタートアップ ° 大好評・新著「イスラエルビジネスガイドブック」著者2名に電撃インタビュー×Startup Grind Fukuoka 第10回 (2021年8月29日、オンライン)	

※本資料は、報道や政府発表、企業発表等の一般公表情報を基に作成しております。

イスラエルの動き（主な報道）

（出典：報道）

- 1日 イスラエルの IAI (Israel Aerospace Industries) 社は、スリランカ空軍の戦闘機 (Kfir) をアップグレードする契約 (5000 万ドル) を締結したと発表。
- 2日 イスラエル政府は、ニューヨーク証券取引所において、50 億ドルの債券による資金調達を行う目論見書を提出。新型コロナウイルスのワクチン購入費などにあてると見られている。
- 4日 イスラエルのサイバーセキュリティ企業である Orca Security 社は、Check Point 社の元従業員が設立した会社だが、シンガポールの政府系投資会社であるテマセク社から、17.5 億ドルの評価額で、1.5 億ドルを調達。
- 4日 財務省が提出した金融セクターにおける競争を喚起する法案が、立法のための閣僚委員会により承認された。法案には、フィンテック企業の利用を見越して、特定企業に限り実験的に規制緩和する Regulatory Sandbox 制度などが含まれる。
- 5日 イスラエルのエル・アル航空は、アブダビのエティハド航空とのコードシェアを発表。アブラハム合意に伴い、2020 年に署名した覚書が基になっている。
- 5日 イスラエルでは 6 月の新車販売台数が 32,000 台となり、2021 年の上半期では 183,000 台となった。これは 2020 年全体の販売台数とほぼ同じ台数。
- 5日 イスラエルの内閣は、OECD の BEPS (税源浸食・利益移転) プロジェクトの成果に準拠した所得税施行規則の改正を承認。
- 5日 イスラエルの IAI 社は、南アジアの国に対して、ドローンに対して防衛するシステム (Drone-Guard System) を提供する契約を締結したと発表。数千万ドルの規模。
- 5日 イスラエル電力公社は、タマル・ガス田から算出されるガスの買取価格を 25% 減額する再交渉に入ったと発表。現在の契約は、2012 年に結ばれたもの。
- 5日 保健省は、デルタ株による感染に対しては、コロナワクチンの効果が過去 1 ヶ月において 64% であったと報告。
- 6日 エイラット空港跡地に、政府が提供する低価格の家を建設する入札において、Khakhshouri Marketing 社と Amram Avraham 社が落札したと発表。
- 6日 欧州イノベーション評議会は、イスラエルの医療機器スタートアップである NanoVation 社に対して、同社の呼吸監視装置の開発のため、500 万ユーロ (590 万ドル) を投資。本装置は、遠隔で患者の呼吸や肺機能を監視できる。
- 6日 イスラエルと韓国は、新型コロナウイルスのファイザー製ワクチンを相互に融通する取引に署名。まずはイスラエルにある余剰ワクチン 70 万回分を韓国に融通。
- 7日 イスラエルのプロップテック(不動産テック)スタートアップである Bllink 社は、160 万ドルの資金調達ラウンドを終了。Bllink 社は、建物に関する支払いのデジタル化・自動化を行うソリューションを開発している。
- 7日 人工知能による顔認識分野のイスラエル・スタートアップである Anyvision 社は、ソフトバンク・ビジョン・ファンド 2 等より、2 億 3500 万ドルを調達。
- 7日 クファーシャレムの住民が、イスラエルにおける最大の輸送インフラプロジェクトであるテルアビブ・ライト・レールの入札結果発表を阻止しているとの報道。当初の予定では、5 月末に発表されることになっていた。

- 7日 イスラエルの培養肉スタートアップである Aleph Farms 社は、1 億 500 万ドルの資金調達（シリーズ B）を完了。遺伝子操作をしていない動物の細胞から、直接、食用の肉を培養する。
- 8日 CSRankings のランキングにおいて、テクニオン大学が人工知能分野のランキングで欧州 1 位、世界でも 15 位となった。
- 8日 財務大臣が、新たな金融サービスを生み出すため、金融機関が独占している顧客の金融情報を、顧客の同意の下に新しい技術機関に移転することを可能とする法整備（オープンバンキング）を提案。
- 9日 ソフトバンクは、前モサド長官であるヨッシ・コーヘン氏を、イスラエル事務所の代表として任命との報道。
- 11日 SpaceIL 財団は、イスラエルによる二度目の月面ミッションのために 7,000 万ドルを調達したと発表。2024 年の打ち上げを予定。
- 12日 イスラエルにおけるインフラ投資計画の中に、過去に決定していた鉄道の延伸計画（ネゲブからエイラット）が含まれていないことが明らかに。財務大臣は、この計画は経済的でないと発言。
- 13日 ビジネスインテリジェンス企業の ZoomInfo 社は、セールス電話のデータを AI で分析するシステムを開発するイスラエルのスタートアップ、Chorus.ai 社を、5.75 億ドルで買収する旨を発表。
- 13日 イスラエル政府は、テルアビブの渋滞緩和に向けて、渋滞課徴金の計画案の詳細を公表。当該地域を 3 つに区分して課金する方針。
- 13日 観光大臣が、コロナ閣議（コロナ関連の方針を決定する閣僚の会合）において、2 回ワクチンを打った人は PCR テストの陰性証明のみで入国を可能とするといった、イスラエルへの観光を再開する計画概要を提示。
- 13日 イスラエル政府は、国の研究開発を取り扱う国家研究開発評議会について、新たな 13 人のメンバーを指名するなどの刷新を行っているとの報道。
- 13日 イスラエル訪問中のムハイリ UAE 食糧・水安全保障大臣と、フォレル農業・農村開発大臣は、両国の食料生産、サプライチェーン、食料安全保障分野の研究とイノベーションに関する了解覚書に署名。
- 14日 発表された IVC-Meitar Tech Review によると、2021 年上半期におけるイスラエル企業の資金調達額が 119 億ドルとなり、2020 年全体の資金調達額である 103 億ドルを上回った。
- 14日 財務大臣は記者会見において、テルアビブ都市圏への渋滞課徴金の導入は、運輸省が支持すれば導入するが、そうでなければ導入しないと説明。
- 14日 女性の定年を現在の 62 歳から 2032 年までに 65 歳に引き上げる内容が盛り込まれた法案が、財務大臣によって国会に提出。なお、男性の定年は現状 67 歳。
- 14日 キャセイ・パシフィック航空は、香港・テルアビブ間の運航を再開すると発表。最初の運航は 7 月 15 日、二回目の運航は 7 月 29 日。
- 14日 中国企業の SIPG 社が運営する予定のハイファ新港において、試験運用のため、初めての船（MSC Marylena）が入港。
- 15日 アメリカのサイバーセキュリティ企業の Rapid7 社が、イスラエルのサイバーセキュリティ企業である IntSights 社を 3.5~4 億ドルで買収する交渉を実施との報道。

- 15日 イスラエルのサイバーセキュリティ企業の Cybereason 社は、32 億ドルの企業価値評価額で、2 億 7500 万ドルを調達。ムニューチン前米財務長官による新ファンド・Liberty Strategic Capital が主導。ソフトバンク・ビジョンファンド 2 も参加。
- 15日 中国の自動車メーカーである Geely 社は、今年末までにイスラエルで電気自動車の販売を開始する旨を発表。
- 16日 NBC スポーツグループの NBC Olympics は、東京オリンピック大会放映の広告管理プロバイダーに、イスラエルの Innovid 社を選定したと発表。
- 19日 在イスラエル日本国大使館において、イスラエル宇宙庁の支援を受ける Helios 社と、日本の ispace 社との間で、イスラエル・日本企業間での初めての宇宙分野での協力として、月面探査ミッションにおける技術協力に向けた協定に署名。
- 19日 イスラエルでライブ放送関連の技術を開発・提供する LiveU 社は、カーライルグループに 4 億ドルで買収される予定との報道。
- 20日 財務省と環境保護省は、使い捨てプラスチック製容器の輸入及び国内生産に対し、重量ベースの購入税を貸す計画を策定している旨発表。2022 年 1 月に実施予定。
- 20日 イスラエルでエアコンの輸入・販売・設置を行う最大手のトルネード社は、三菱重工のエアコンの取扱いを開始する旨の記念式典を開催。
- 21日 コロナ閣議に先立ち、テルアビブ国際空港で、エル・アル空港や保険システムの代表等が集まり、海外からの帰国者に要求すべき隔離機関等について協議。保険システム側は 7 日間の強制隔離を主張する一方、航空業界は 4 日間への短縮等を要求。
- 21日 インテルが買収したイスラエル企業のモービルアイは、ニューヨークにおいて自動走行車の試験実施を行う旨発表。
- 21日 イスラエルの IPC 社 (Israel Ports Development & Assets Company) は、ハイファの新しい港を 9 月 1 日から運営を開始する旨発表。
- 21日 ベネット首相は、テルアビブ大学が行うサイバーセキュリティのカンファレンス (CyberWeek) において、“Like-minded”な国々で共同のグローバル・サイバーセキュリティ・ネットワーク (Global Cybernet Shield) の構築を呼びかけ。
- 21日 イスラエルの半導体スタートアップである Kameleon Security 社は、サイバーセキュリティに対してハードウェアからアプローチしているが、カリフォルニアを拠点とする半導体企業の Xilinx 社から投資を受けた。
- 21日 イスラエルの水道局は、国の水道システムのサイバー防衛を強化するため、イスラエルのサイバーセキュリティ企業である SIGA 社のシステムを選択。
- 24日 イスラエル政府は、2050 年までに温室効果ガス排出量を 2015 年比で少なくとも 85%削減することを目標とした計画を承認。
- 25日 運転手無しでの自動走行の実証を可能とするため、交通条例を改正する提案書を、立法のための閣僚委員会に提出。
- 26日 PR の仕事を支えるソフトウェアを開発する Propel 社が、110 万ドルの資金調達を行ったと発表。Propel 社は既に、Google を初めとする 100 以上の顧客を持つ。
- 26日 イスラエルの保険会社である Menorah Mivtachim 社は、IBM のアルファゾーン・アクセラレータプログラムを通して、第一生命を含む日米欧の保険会社と連携して、インシュアテックや AI 等のスタートアップをスカウトする旨発表。

- 26日 イスラエルとウクライナの両当局者は、新型コロナウイルスのワクチン証明相互承認について協議を実施。今後も前向きに協議を進めることとなった。
- 26日 アメリカのCDC (Centers for Disease Control and Prevention) は、コロナの感染拡大を受け、ワクチン未接種の観光客にイスラエルへの渡航を避けるよう勧告。
- 26日 大麻患者向けの初めてのSNSであるEcoCaNNが、イスラエルにおいて開始。医療用大麻をベースとした製薬の研究開発を行うMediCane社が運営。
- 28日 イスラエルとバーレーンの経済協力協定が、政府の承認を得るプロセスに入った。順調に進めば、数か月後に発効する。
- 28日 国会の経済委員会は、旅客ターミナルへの入場を従業員かフライトの4時間前の旅客に限るといった空港・運航における規制を改正することを承認。その際に保健省は、空港を閉じたり、運航を減らす意図はない旨発言。
- 28日 ソフトバンク (ソフトバンク・ビジョンファンド2) は、イスラエルのIoTスタートアップであるWiliot社による2億ドルの資金調達ラウンド (シリーズC) をリードした。
- 28日 イスラエルのスタートアップであるTreeverse社は、1500万ドルを資金調達 (シリーズA)。ビッグデータを蓄積・処理するオープンソースであるLakeFSを開発・提供している。
- 29日 NTTは、イスラエルにおける拠点としてNTT Innovation Laboratory Israelを開設した旨の記念式典を開催。通信大臣などが出席。
- 29日 イスラエルのエル・アル航空は、財務省に対して、政府による救済パッケージの一部となっている1億500万ドルの公募を延期要請。
- 29日 EVメーカーのテスラは、イスラエルにおける好調な販売を背景に、新しい車を配分する上でイスラエルを優先的な市場と定義した。
- 29日 デルタ株の感染拡大を受け、イスラエルにおいて、60歳以上の人に3回目の新型コロナウイルス・ワクチンを打つことを開始する方針が発表。8月1日より開始。
- 29日 Googleは、イスラエル経由でヨーロッパとアジアを接続する海底ケーブルのプロジェクトを正式に発表。プロジェクトの予算規模は、4億ドルと見積られている。2024年に運転開始予定。
- 29日 オンライン支払に関する犯罪を防止する技術を開発・提供するイスラエル企業のRiskified社は、ニューヨーク証券取引所において取引開始。評価額は330億ドル。
- 29日 米国のトランプ前大統領の下で大統領上級顧問を務めたジャレッド・クシュナー氏が、今後数ヶ月の間に、イスラエル経済とインド・北米・湾岸をつなぐことに力点を置いた投資会社Affinity Partnersを設立予定との報道。
- 30日 西ガリラヤ地方に設置予定のイスラエルで6番目の淡水化プラントに対して、3社が入札。コストは、10億シェケルほどと推計。2025年の完成を目指す。

主要経済指標

1. 経済成長率（GDP）

● 2021年第1四半期の成長率は年率-5.8%（三次推計）

中央統計局は、2021年第1四半期の経済成長率がマイナス5.8%だったと発表した（二次推計のマイナス6.2%からは上方修正）。

マイナス成長には、2020年末に開始した3回目のロックダウン等が影響した。

出典：イスラエル中央統計局

[National Accounts: Third Estimation for the First Quarter of 2021 \(cbs.gov.il\)](https://cbs.gov.il/national-accounts-third-estimation-for-the-first-quarter-of-2021)

2. 貿易（EXPORT & IMPORT OF GOODS）

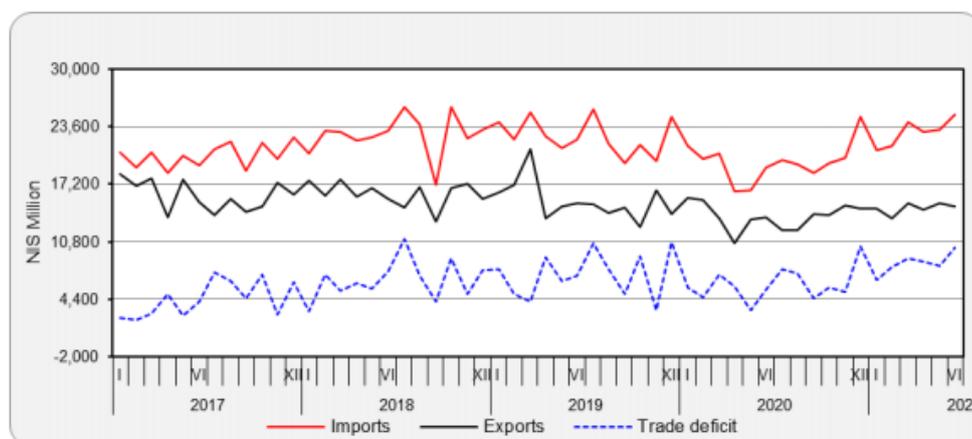
● 2021年6月の貿易赤字は102億NIS

中央統計局の発表によれば、2021年6月の物品輸入は249億NIS、物品輸出は147億NISであり、貿易赤字は102億NISであった。

物品輸入の45%は原材料（ダイヤ、燃料除く）であり、25%が消費財、17%が機械装置・陸上輸送機、13%がダイヤ、燃料、船舶、航空機である。物品（船舶、航空機、ダイヤ、燃料除く）の輸入は直近3カ月で年率17.4%増加。

鉱工業製品の輸出が全体の88%を占め、11%がダイヤモンド、残り1%が農林水産品。物品（船舶、航空機、ダイヤ除く）の輸出は直近3カ月で年率1.9%増加。工業製品輸出（ダイヤ除く）のうち39%を占めるハイテク製品輸出は、直近3カ月で年率13.7%増加。

Diagram 1 - Imports, Exports and Trade Deficit in Goods (original data)



(※ — : 輸入, — : 輸出, - - - : 貿易赤字)

出典：イスラエル中央統計局

[Israel's Foreign Trade in Goods, by Country - June 2021 \(cbs.gov.il\)](https://cbs.gov.il/foreign-trade-in-goods-by-country-june-2021)

3. 失業率（UNEMPLOYMENT RATE）

- 6月の失業率は5.4%で前月より増加。一方、コロナ関係での休職者等は減少

中央統計局は、2021年6月の失業率は5.4%であり、前月比0.3%ポイント増と発表。その他、新型コロナウイルス等に関連した労働関係のデータは以下のとおり。

	5月	6月
失業者（率）	209,300人 (5.1%)	225,200人 (5.4%)
新型コロナウイルス関連で一時的に全く仕事をしていない被用者+失業者数（率）	279,100人 (6.8%)	274,200人 (6.6%)
2020年3月以降解雇又は職場の閉鎖により労働をやめて労働人口にカウントされない人+新型コロナウイルス関連で一時的に全く仕事をしていない被用者+失業者数（率）	411,600人 (9.8%)	387,100人 (9.0%)

出典：イスラエル中央統計局

[Labour Force Survey Data, June 2021 \(cbs.gov.il\)](#)

4. 消費者物価指数（CPI）

- 6月期のCPIは前月比0.1%ポイント増

中央統計局の発表によれば、2021年6月期のCPIは前月比0.1%ポイント増（2020年平均を100.0した時、2021年5月の101.3が、2021年6月に101.4と増加）。

うち価格上昇が著しかったのは、生果物（1.4%ポイント増）、食品（0.8%ポイント増）。一方、価格下落が著しかったのは、生野菜（8.2%ポイント減）、被服・靴（3.0%ポイント減）。

年初からのCPIは1.6%ポイント増加しており、過去12か月間でも1.7%ポイント増加。イスラエル中央銀行が年間の目標範囲としている1%～3%内。

中央統計局は、4-5月期の住宅価格指数も公表。3-4月期に比べて0.7%上昇した。前年同期比では7.2%上昇している。

出典：イスラエル中央統計局

[Consumer Price Index, June 2021 \(cbs.gov.il\)](#)

[Price Changes in the Dwellings Market: June 2021 \(cbs.gov.il\)](#)

5. 政策金利 (INTEREST RATE)

● 中銀、政策金利を 0.1%で維持

7月5日、イスラエル中央銀行の金融委員会（日本の金融政策決定会合）は、政策金利を0.1%のまま維持することを決定。中銀による声明の要旨は以下のとおり。

経済活動の急速な回復が続いている。経済活動はほぼ完全に開放されており、現時点では、経済活動に対する重大な制限は無い。しかしながら、6月中旬以降、「デルタ株」の拡大に伴い、新型コロナウイルスの確定患者数が増加している。現段階では罹患率は低いものの、病気の拡大は経済の継続的な回復に一定のリスクをもたらしている。

広義の失業率は9.5%に低下しつつも、新型コロナウイルス関連で一時的に全く仕事をしていない被用者を除く失業率は若干上昇。しかし、総求人数に占める求人数の割合は高水準で安定している。

調査部の見通しでは、GDPは2021年に5.5%、2022年に6%成長し、2022年末のGDP水準は危機以前に想定されていた水準よりも約0.5%低だけとなる見込み。

住宅価格は急速に上昇し、過去12カ月間で5.6%上昇。しかし、賃貸価格の上昇ペースは依然として緩やか。

インフレ率の上昇傾向は続いている。過去12ヶ月間のインフレ率は目標範囲に入り、現在は1.5%。今後1年間のインフレ期待値は引き続き上昇し、目標範囲内にある。中長期のインフレ期待値は若干低下したが、目標範囲の中間点に固定されている。

前回の政策金利決定以降、シェケルは対米ドルで1.1%安、名目実効為替レートでは0.6%高、対ユーロでは2.2%高となった。

金融委員会は、中小企業や零細企業への融資に関する銀行システムへの長期融資を行うプログラムについて、2021年10月1日もしくは、400億NISを利用した時点で終了することを決定した。

イスラエルでは通常の生活に戻ったことで、来年の急速な成長が支えられる。しかし、イスラエル国内外の健康リスクや、経済、特に労働市場への影響を考えると、経済活動にはまだ課題がある。したがって、当委員会は、政策目標の達成と経済の危機からの回復を引き続き支援し、金融市場の秩序ある機能を確保するために、必要に応じて金利ツールを含む様々なツールを用いて、非常に緩和的な金融政策を長期間にわたって継続していく。

政策金利の見直しは年10回で、次回公表日は8月23日。

出典：イスラエル中央銀行

[Bank of Israel - Press Releases - The Monetary Committee decides on July 5, 2021 to keep the interest rate unchanged at 0.1 percent \(boi.org.il\)](https://www.boi.org.il/press-releases/2021/07/05/monetary-committee-decides-on-july-5-2021-to-keep-the-interest-rate-unchanged-at-0.1-percent)

6. 為替 (EXCHANGE RATE)

● 7月の為替相場は今年1月以来、最もシケル高の水準で終了

7月の為替相場は、上旬から中旬にかけてシケル安の傾向となるが、外貨準備高の積み上がりなどを背景に、下旬にかけてシケル高の方向に。

その結果、7月の為替相場は、今年1月以来、ドルに対して最もシケル高の水準で終了した。このシケル高の傾向は、ユーロなどその他の通貨においても同様。



出典：報道・グローブス紙

<http://www.globes.co.il/en/market.tag>

グラフ出典：中央銀行・7月のドルシケル相場推移

<https://www.boi.org.il/en/Markets/ExchangeRates/Pages/Chart.aspx?CurrencyId=3&DateStart=01%2F07%2F2020&DateEnd=30%2F07%2F2021>

7. 外貨準備高 (FOREIGN RESERVE)

● 6月の外貨準備高は2,002億ドル。引き続き歴史的水準。

中央銀行による発表によれば、6月末時点の外貨準備高は、前月比18.3億ドル増となる2,002億ドルであった。GDPの48.8%を占める。

増加の要因は、中央銀行による外貨購入（31.66億ドル）。その増加額の一部は、民間移転（1.29億ドル）、評価替（10.57億ドル）、政府移転（1.55億ドル）によって相殺された。

出典：イスラエル中央銀行

[Bank of Israel - Press Releases - Foreign Exchange Reserves at the Bank of Israel, June 2021 \(boi.org.il\)](https://www.boi.org.il/press-releases/foreign-exchange-reserves-at-the-bank-of-israel-june-2021)

8. 主要株価推移（TA35）

● 月間推移

Trading Chart - TA-35

01/07/2021 - 29/07/2021



● 年間推移

Trading Chart - TA-35

02/08/2020 - 29/07/2021



● 7月のテルアビブ証券取引所（TASE）関連ニュース

6日、毎年約100社が上場する中で、分類を細分化するために、「Commerce and Services Sector」の下に新しいサブセクター「Retail」を、8月1日より開設する旨を発表。当該サブセクターには19社が分類される。

14日、在イスラエルUAE大使館が、TASEのビルの中に設置された。

出典：テルアビブ証券取引所

<https://www.tase.co.il/en>

イスラエル経済関係記事

スタートアップ° イスラエルのハイテク産業がまた新たな記録を樹立、 2021 年上半期に 119 億ドルを調達

IVC-Meitar Tech Review によると、イスラエルの企業は 2021 年の上半期に、2020 年の調達総額（103 億ドル）を超えた。

IVC リサーチセンターと法律事務所 Meitar が水曜日に発表したデータによると、イスラエルのハイテク産業は減速の兆しを見せず、2021 年の第 2 四半期に急激な資金調達の盛り上がりを見せている。2021 年上半期のイスラエルの IVC-Meitar Tech Review によると、2020 年の調達総額（103 億ドル）を上回る 119 億ドルの資金調達が行われ、過去最高の記録を更新した。

報告書によると、2021 年第 2 四半期には 230 件の取引が完了し、投資額は 65 億 2,000 万ドルと過去最高を記録。その結果、2021 年上半期に完了した取引件数は、2020 年に完了した全取引件数の 66%に相当。

イスラエルのハイテク産業の資金調達記録は、2021 年第 2 四半期のすべてのラウンドで登録。早期ラウンド（シードおよび A ラウンド）への投資は、取引件数および金額ともに増加を続け、126 件、10 億 4,000 万ドルの調達に達した。

より進んだラウンド（B ラウンド以上）への投資も 2021 年第 2 四半期に引き続き増加し、54 億 8,000 万ドルを調達。また、過去 2 年間で四半期ごとの取引件数が大幅に増加しており、中央値では、2021 年上半期中規模以降のラウンドにおける取引 1 件あたりの資金額が実際に増加していることが示されている。

2021 年上半期には、5,000 万ドル以上が 79 件の取引に投資されたが、このような取引は 2020 年には 47 件、2019 年には 39 件。上半期に完了した各 1 億ドル以上の取引は 38 件で、同期間の全資金調達の約 50%を占めた。

投資家の好みは 2021 年上半期もほぼ変わらず、資本の大半がフィンテックとサイバーセキュリティ技術の企業に向けられた。フィンテック分野の取引件数は 57 件で、前年同期の 26 件に比べて増加。サイバーセキュリティ分野で活躍する企業は、2021 年の上半期に 29 億ドルを調達したが、これは今期の調達額のほぼ 25%に相当し、2020 年の調達額の合計を上回る。

米国、イスラエル、その他の資本市場におけるイスラエルのハイテク企業の活動は、2021 年上半期に大幅に増加。これは、新規株式公開（IPO）、SPAC 取引、フォローオン・オフリングの件数が最も多かったことに反映されている。2021 年上半期に IPO を完了したイスラエルのハイテク企業は過去最多の 48 社で、SPAC 企業との合併により 7 件が完了し、総額 24 億 1,000 万ドルの資金調達に成功した。

テルアビブ証券取引所（TASE）では、この期間に最も多くの IPO があり（35 件）、2021 年上半期に完了した 48 件の IPO による調達額の約 12%を占めた。

Meitar 社のパートナーである Mike Rimon 氏は、次のように述べている。

「2013年から2014年にかけて、イスラエルのハイテク企業がこれほど短期間に大量に上場したことはなかった。2021年上半期には、48社のイスラエル企業の株式公開が完了。通常の株式公開、またはSPACとの合併によるもので、そのうち35社がテルアビブで、12社が米国、1社がロンドンで完了した。

これらの企業、特に米国で公開された企業は、非常に高い評価額でIPOを完了し、ほとんどの企業がIPO後に評価額を引き上げた。この傾向は、2021年前半に比べて緩やかになる可能性はあるものの、近い将来にも続くと予想している。SPACとの合併は、特に、米国とイスラエルの規制当局がこのような取引に懸念を抱いていることや、2021年第1四半期の「伝統的な」IPOよりも大幅に低かったSPACとの合併で上場した企業のパフォーマンスを考慮して検討されるだろう。」

2021年上半期のイスラエルのハイテクM&A案件は約40億ドルで、この割合は、同じく減少を経験した2020年と同程度。大きな買収案件は3つであり、MyHeritageはFrancisco Partnersが6億ドルで買収、ProsperaのValmontによる買収、VDOOのJFrogによる買収は1件あたり3億ドル。

IVCのシニアアナリストであるマリアナ・シャピラ氏は、以下のように述べている。

「2021年上半期に観察された調査結果によると、イスラエルのハイテク産業は引き続き海外のベンチャーキャピタル投資家の戦略的ターゲットとなっているようだ。ハイテク企業はあらゆる段階で手厚い投資の恩恵を受けており、本格的な投資家は早い段階から参加。それが資金調達額の増加に反映され、生き残りの可能性を高めている。

イスラエルの投資家が活動を拡大していることや、企業の評価額の高さは、資本の利用可能性を示しており、ハイテク産業への資金の流れの良い傾向は、2021年中にも続くと予想されている。」

出典：報道 CTech by Calcalist

[Israeli tech sets yet another record, raising \\$11.9 billion in H1 of 2021 - CTech \(calcalistech.com\)](https://calcalistech.com)

「加経済」 フィッチ、イスラエルの A+格付けを再確認、2021 年の成長率を 5.5%と予想

フィッチ・レーティングスは、イスラエルの長期外貨建発行体格付（IDR）を「A+」に据え置き、見通しを安定とした。

この決定についてフィッチは、「イスラエルの「A+」格付けは、高い政府債務/GDP 比率と安全保障上のリスクの上昇に対して、新型コロナウイルスのパンデミックへの耐性を証明した多様で高付加価値の経済、強固な対外財務、堅固な組織力を考えて、バランスをとった結果」と見解を述べている。

イスラエルの経済は、新型コロナウイルスの危機により 2020 年に 2.6%収縮した後、格付け会社は 2021 年に 5.1%成長、2022 年に 5.7%成長を予測しており、イスラエル銀行の GDP 成長率予測を下回っている。

フィッチは、以下のように述べる。

「経済は、ハイテク産業の好調とワクチン接種の早期かつ迅速な進展を反映して、他の多くの国よりもパンデミックショックに対する回復力が高い。フィッチの予測は、イスラエルが 2021 年から 2023 年までの各年の GDP 成長率で「A」の中央値を上回ることを示唆している。」

財政面では、イスラエルの財政赤字は、対 GDP 比で 2020 年の 11.6%から 2021 年には 7%に縮小するとフィッチは見ている。また、2022 年には対 GDP 比で 5%、2023 年には 3%とさらに赤字幅が縮小すると見ている。

フィッチは、新連立政権が 2021 年と 2022 年の予算を年内に成立させ、2022 年には債務残高の対 GDP 比が安定すると予測している。

格付け会社は、イスラエルが信用格付けを向上させるためには、政府債務の対 GDP 比の減少傾向が続く必要があると説明している。一方で、債務残高の対 GDP 比が上昇したり、地政学的な安全保障リスクが長期的に深刻な経済的影響をもたらすようなことがあれば、格付けに悪影響を及ぼす可能性がある。

出典：報道 GLOBES

[Fitch reaffirms Israel's A+ rating, sees 5.5% 2021 growth - Globes](#)

日イスラエル経済関係記事

人事 ソフトバンク、イスラエル支社長に元モサド長官を起用

モサドのトップから世界最大のベンチャーキャピタルへ。日本の投資家、孫正義氏が率いるソフトバンクは、イスラエルでの活動を統括するマネージャーとして、元モサド長官のヨッシ・コーエン氏を起用するという情報が Globes に寄せられた。ソフトバンクは、Uber、Alibaba、TikTok、Didi などの企業に巨額の投資を行っており、世界有数のテクノロジーファンドと言われている。これは、Blackstone が Yifat Oron を Senior Managing Director 兼テルアビブオフィスの責任者に任命したのに続き、イスラエルに駐在員事務所を開設した 3 ヶ月以内で 2 番目の投資大手。

コーエン氏が選ばれた理由のひとつは、彼が投資のバックグラウンドを持たないにもかかわらず、イスラエルではよく知られた人気者であるということ。コーエン氏は、イスラエルの起業家やテクノロジーと結びつき、あらゆる地域のあらゆる企業、政府、公的機関に門戸を開く能力を持っている。

コーエン氏は、イスラエルにおけるソフトバンクの活動を管理し、投資対象となる企業をスカウトし、それらの企業がアジアを中心としたグローバル市場を見つけるのを支援する。コーエン氏は、ソフトバンク・ビジョン・ファンドのマネージング・パートナーであるヤンニ・ピピリスがロンドンで統括するソフトバンクの欧州・中東チームと連携する。コーエン氏は、300 億ドル規模のソフトバンクの 2 号ファンドのメンバーとなり、サウジアラビア政府系ファンドが出資している 1 号ファンドからの投資は行わない。

Globes の取材によると、ソフトバンクは、適切な顧客に適切な価格を見つける技術であれ、他の企業にサービスを提供するエンタープライズ・ソフトウェアであれ、高いレベルで AI 技術を実証している評価額 2 億 5,000 万ドル以上の成長企業に対して、最低 5,000 万ドルの小切手を書く意向だという。ソフトバンクによる投資の恩恵を受けることができる企業は、第 2 ラウンド、第 3 ラウンド、第 4 ラウンドからの、資金調達段階の後期にある成長企業。ソフトバンクは、年間売上高が 1,000 万ドル以上で、急速な成長の実績があり、中期的にも収益性の高い数字を示している企業を求める。

コーエン氏は、「ソフトバンクは、テクノロジー投資の新しいアプローチを開拓し、新興テクノロジーのチャンピオンによる世界最大のエコシステムを構築してきた。イスラエルの高度な技術と起業家精神にあふれた文化は、ソフトバンクの投資ビジョンに自然に適合するものであり、この地域と世界で急成長する企業のスケールアップを支援することを楽しみにしている」と述べている。

ピピリス氏は、Globes に以下のように語った。

「私たちは、イスラエルでのプレゼンスを拡大することに非常に興味がある。なぜなら、我々はテクノロジーや AI に投資しており、イスラエルにはこのテクノロジー分野で素晴らしい起業家や創業者がいるからだ。私たちは、この分野への注力を強めることに意味があると考えた。私たちは最近、イスラエルで複数の投資を完了しており、他にも多くの魅力的な機会があると考えている。」

「コーエン氏に会ったとき、一緒に仕事ができることにすぐに興奮した。彼は、イスラエルの業界全体に非常に大きなつながりがあり、起業家や創業者が認める人物であり、我々にとって中心的な存在になることができる。」

「彼のイスラエルの業界全体との関係や、国際関係を横断する能力は、これらの起業家をグローバルに AI エコシステムと結びつけるのに有効であることは明らかだ」

「私たちは、ある企業に投資する際、その企業を 200 社を超えるソフトバンクのネットワークに紹介し、アジア、日本、中東などの新しい地域への進出を支援したいと考えている。コーエン氏の国際的な仕事の経験は、大きな財産だ。」

出典：報道 Globes

[Exclusive: SoftBank taps ex-Mossad chief to head Israel office - Globes](#)

宇宙 日本の宇宙開発企業アイスペース、イスラエル企業と提携

日本の宇宙開発ベンチャー企業のアイスペース (ispace) は7月19日、イスラエルの宇宙開発スタートアップ・ヘリオスとの提携を発表した。覚書署名式典が在イスラエル日本大使館で行われ、水嶋光一駐イスラエル大使やイスラエル宇宙庁のアビ・ブラスベルガー長官、ヘリオスのヨナタン・ゲイフマン最高経営責任者 (CEO) らが出席。アイスペースの袴田武史共同創業者兼 CEO はオンラインで出席した。

主な提携内容は、アイスペースが提供する月面探査プログラムの中で、ヘリオスが開発するレゴリス溶融機 (注1) を搭載して、月面での実証実験のために輸送することで、実際の月面への輸送は2023年以降を予定しているという。

式典で水嶋大使は日本とイスラエルの宇宙開発企業のパートナーシップを歓迎した。ブラスベルガー長官は、これまで日本の宇宙航空研究開発機構 (JAXA) とイスラエル宇宙庁との間での交流があったものの、今回、両国の宇宙開発協力の初めての具体的な連携事例が民間企業同士の取り組みから生まれたことを称賛し、今後のさらなる両国のパートナーシップ促進に期待を示した。

アイスペースは2010年9月に設立。月面資源を中心とした宇宙資源を活用する宇宙インフラを構築し、地球と月を1つのシステムとして捉えて、持続性のある世界を実現することを企業理念としている。2020年12月にはシリーズB追加ラウンドを行い、調達累計額は140億5,000万円に達する。月面データの調査支援・販売のほか、月面への高頻度輸送サービスや、ペイロード (有償貨物輸送) サービスを提供する。

同社は「J-Startup」 (注2) に認定されており、JAXA、ルクセンブルク政府とも月面資源開発で連携。また2021年4月14日には、アラブ首長国連邦 (UAE) のモハメド・ビン・ラシード宇宙センター (MBRSC) とも、同国初となる月面輸送に向けたペイロードサービス提供契約を締結している。

なお、日本・イスラエル間の宇宙開発に関連する企業の動きとしては、2020年6月にスペースデブリ (宇宙ごみ) の除去サービスに取り組む日本のアストロスケールが、人工衛星寿命延長などのサービスを行うイスラエル企業エフェクティブ・スペース・ソリューションズの知的財産権を取得し、同社の研究開発 (R&D) 拠点として運営している。

(注1) 月面資源開発で分析対象となる各種物質 (例：酸素) を抽出するため、これらの物質を多く含む月表面の砂 (レゴリス) を溶融するための装置。

(注2) J-Startup は、経済産業省が推進するスタートアップの育成支援プログラム。

出典：JETRO ビジネス短信

[日本の宇宙開発企業アイスペース、イスラエル企業と提携\(日本、イスラエル\) | ビジネス短信 - ジェトロ \(jetro.go.jp\)](https://www.jetro.go.jp/press/2021/07/19/01)

企業進出 NTT、イスラエルに技術探索拠点を設立

NTT が 7 月にイスラエルに現地法人 NTT Innovation Laboratory Israel を設立し、同月 29 日にテルアビブ市内のホテルで記念式典を開催した。式典にはヨアズ・ヘンデル通信相や水嶋光一駐イスラエル大使、ギラッド・コーヘン次期駐日イスラエル大使らが出席し、NTT の澤田純社長はオンラインで参加した。

NTT Innovation Laboratory Israel は、NTT グループの持ち株会社 NTT の子会社として設立された。代表は、前駐日イスラエル経済公使のノア・アッシャー氏が務める。同社は、イスラエル企業の先端技術を探査して NTT グループ各社とつなぐ結節点となり、さまざまな分野の協業や投資を通じて、新ビジネスの創出やグループ全体の変革、イノベーションを支援する。

アッシャー代表は「NTT のイスラエル拠点設立は、ここ数年イスラエルとの関係を深めてきた日本の産業界に対し、イスラエルが引き続きイノベーションセンターであることの大きなメッセージになる」と語った。当面はサイバーセキュリティやデジタルヘルス、ロボティクス分野を中心とした技術探索に取り組むという。

ヘンデル通信相は、日本の情報通信技術（ICT）分野の大企業である NTT のイスラエル拠点設立を歓迎し、通信のみならず、農業やスマートシティーなど幅広い分野での日本とイスラエルの協業・投資の深まりに期待を寄せた。水嶋大使は、ここ数年日本からイスラエルへの投資が拡大している状況を紹介し、イスラエルの先端技術を活用した両国相互のビジネスの拡大に期待すると述べた。

日本企業のイスラエル企業との協業や投資は、新型コロナウイルス感染拡大後も続いている。最近では、豊田通商が自動車向けセキュリティサービスを提供するイスラエルのスタートアップ企業 Cybellum Technologies と販売代理店契約を締結した。豊田通商は、同社が持つ通信モジュールを搭載する車両へのサイバー攻撃に対するソリューションを日本で展開する。

出典：JETRO ビジネス短信

[NTT、イスラエルに技術探索拠点を設立\(日本、イスラエル\) | ビジネス短信 - ジェトロ \(jetro.go.jp\)](https://www.jetro.go.jp/press/2021/07/20210729_01.html)

ファンド組成 コランダム・イノベーション、イスラエルのスタートアップを投資対象とする 2号ファンドの組成を開始

グローバルなベンチャー投資およびコンサルティングで新規事業開発を支援するコランダム・イノベーションは、グループ会社を通じてイスラエルの有望なハイテクスタートアップへ投資する2号ファンド「Corundum Open Innovation Fund II」の参加募集を開始。

現在運用中の1号ファンドでは、イスラエルのトップベンチャーキャピタルであるVertex Venturesへも出資し、投資活動を通して得られる非公開情報をもとに出資企業の皆様へ新規事業開発コンサルティングサービスを提供してきた。現段階で、投資先6社のExitが完了し良好なパフォーマンスを収めるとともに、出資企業によるスタートアップへの直接投資を通じた事業取り込みなど、ベンチャー投資および新規事業開発の双方で実績を上げている。

2号ファンドでは、1号ファンドの実績をもとに、連携する現地のトップベンチャーキャピタルを拡充・深耕し、イスラエルの有望なスタートアップへの投資を予定。投資予定領域はイスラエルの強みであるDX、サイバーセキュリティ、AI、デジタルヘルス、メドテック、アグリテック、フィンテック等を中心としたハイテク領域全般となる。これにより、新規事業開発コンサルティングサービスでの有望企業探索力を強化し、大手事業会社出身メンバーのコンサルティング力と掛け合わせて皆様の新規事業開発の支援を強化していく。

コランダム・イノベーションについて

コランダム・イノベーション株式会社とそのグループ会社は投資サービスおよび経営コンサルティングサービスを提供し、ファンド出資者の財務リターンおよび戦略リターンの最大化を支援。メンバーの持つ金融・科学技術・事業開発・企業経営・コンサルティングの知見と、特にイスラエルのトップベンチャーキャピタルとの強いネットワーク、ファンド運営を通して得られる価値の高い情報を活用し、スタートアップ案件情報収集・協業交渉・直接投資・市場開拓・人材育成・ファンド組成など様々なフェーズで柔軟に新規事業開発支援サービスを提供。

出典：プレスリリース

<https://www.corundum.bz/news/coif2-start/4300/>

イスラエルにおける展示会・国際会議等の予定

※イベント等の詳細情報については、各イベント事務局のウェブサイトを御覧ください。

※新型コロナウイルスの影響により、今後、開催中止・規模縮小・オンライン開催への変更が実施されるイベントも予想されますので、参加の検討に当たっては、各イベントのウェブサイト等をご確認ください。

※4月中旬より、新型コロナウイルス・ワクチン接種証明書又は新型コロナウイルスからの回復証明書を所持する方が、イスラエル側の受入企業を確保するなどの所定の要件を満たす場合に限り、入国申請を行うことが可能となる制度の運用が開始されています。いずれにしろ、日本からイスラエルへの短期ビジネス目的での渡航・入国が認められる可能性は極めて低いとみられます。

※イスラエルへの来訪計画を立てるに当たっては、当館ウェブページ・イスラエル保健省ウェブページ等、最新情報をご確認ください。

当館 HP 関連情報 https://www.israel.emb-japan.go.jp/itpr_ja/corona_jouhou.html

イスラエル保健省関連情報 <https://govextra.gov.il/ministry-of-health/corona/corona-virus-en/>

※日本からお越しになる方には、現地情勢のブリーフィング等、各種サポートをさせていただきますので、御連絡ください。ぜひ大使館にもお立ち寄りください。

NEW! **インフラ** INFRASTRUCTURES FOR NEW PARTNERSHIPS CONFERENCE (2021年8月11日、テルアビブ)

イスラエルの国営水道会社である Mekorot 社が主催するイベント。イスラエルにおける今後の水インフラ開発におけるパートナーを探すため、今後の開発計画の紹介などを Mekorot 社より実施。招待制のため、関心ある方は個別にご連絡下さい。

観光 **IMTM2021 - 27TH INTERNATIONAL MEDITERRANEAN TOURISM MARKET** (2021年2月9日～10月27日、オンライン、10月26～27日、テルアビブ)

イスラエル最大の観光博。昨年は世界 57 か国が展示を行い、約 27,000 人が参加。今回は、長期間のバーチャル開催と 2 日間の実際の会場での開催を組み合わせ実施。

<https://www.imtm-telaviv.com/>

ナノテク NANO.IL.2021 (2021年10月4~6日, エルサレム)

ナノテクに関する国際カンファレンス・展示会。マテリアル, エレクトロニクス, 光学, 医療, 防衛, 航空, 半導体等の分野を対象に, 企業, 投資家, 大学等からの参加者を想定している。2021年は「3D Meets NANO」という特別シンポジウムも開催される。

<https://www.nanoilconf.com/>

エレクトロニクス NEW TECH EXHIBITION (2021年10月5~6日, テルアビブ)

ハイテク分野に関する大規模展示会で, 150社以上が展示, 数千人の来場者を見込む。対象分野は, クリーンルーム装置, 電子光学品, レーザー, 光ファイバー, レンズ, カメラ, 試験用機器, プリント基板, 筐体, 電子機械器具, 周辺機器, 組込みシステム, モーター, ロボティクス, 通信機器等。

<https://www.new-techevents.com/new-tech-exhibition/>

インダストリー 4.0 INDUSTRY 4.0 – SMART FACTORY (2021年10月5日, テルアビブ)

上記 New Tech 2020 Exhibition のサイドイベントとして開催される, インダストリー 4.0・スマート工場関連に特化したイベント。IoT, 自動化・ロボティクス, M2M, AI, サイバーシステム, クラウド等を対象とする。

<https://www.new-techevents.com/industry-4-o-smart-factory/>

光学 OPTO TECH 2021 (2021年10月5~6日, テルアビブ)

上記 New Tech 2020 Exhibition のサイドイベントとして開催される, 電子光学品に特化したイベント。

<https://www.new-techevents.com/opto-tech/>

電機 RAX (2021年10月19~21日, テルアビブ)

電気製品, 制御系, 計装, 自動化, 空気圧工学, 照明システム, エネルギー・省エネに関する展示会。今回が26回目の開催となる。

<https://www.stier.co.il/rax/en/>

医療機器**THE 2ND MEDICAL DEVICE RESEARCH &****DEVELOPMENT SUMMIT (2021年10月25日, テルアビブ)**

医療機器（ハードウェア及びソフトウェア）に特化したカンファレンス。第2回となる今回は、最先端のR&Dの方法論やツールを特集。

<https://www.stier.co.il/mdr-d/>

技術移転**ITTN - THE 6TH BIENNIAL CONFERENCE OF****ISRAEL'S TECHNOLOGY TRANSFER ORGANIZATION (2021****年10月25日, テルアビブ)**

イスラエルの主要大学・研究機関の技術移転機関からなる Israel Tech Transfer Network (ITTN) による隔年のカンファレンス。今回第6回。

<https://www.stier.co.il/itn/>

空調**ACLIMA (2021年11月2~4日, テルアビブ)**

空調・冷蔵・暖房・換気システムに関する展示会。今回25回目の開催。

<https://www.stier.co.il/aclima/en/>

モビリティ**SMART MOBILITY SUMMIT 2021 (2021年11月8~9****日 (場所未定))**

イスラエル首相府が先導する「燃料選択及びスマート・モビリティ・イニシアチブ」により進められているイベント。今回で8回目を迎える。イスラエルの交通関連スタートアップの展示やセミナーが開催予定。

<http://www.fuelchoicessummit.com/>

NEW!**防衛****ISDEF2021 (2021年11月9~11日, テルアビブ)**

防衛・警察・サイバー関係の製品を扱う最大級のイベント。今回で11回目。

<https://www.tlv2021.isdefexpo.com/>

食品 ISRAFOOD (2021年11月16~18日, テルアビブ)

イスラエルの食品・飲料に関する展示会。メーカーや輸入業者、小売事業者等を対象とする。今回37回目の開催。

<https://www.stier.co.il/israfood/en/>

ホテル HOTEX-KITEX (2021年11月16~18日, テルアビブ)

ホテルやレストラン産業の器具・サービス・技術に関する展示会。今回37回目。

<https://www.stier.co.il/hotex/en/>

モバイル ISRAEL MOBILE SUMMIT 2021 (2021年11月18日, テルアビブ)

モバイルアプリ, ゲーム, アドテックに関する国際イベント。カンファレンスの他, スタートアップコンテストも開催され, 希望者には1対1ミーティングもセッティング。

<https://www.israelmobilesummit.com/>

NEW! **サイバーセキュリティ** CYBERTECH GLOBAL TEL AVIV 2022 (2022年1月25~27日, テルアビブ)

サイバーセキュリティに関するイスラエルにおける最大のイベント。

<https://www.stier.co.il/israchem/en/>

化学 ISRACHEM (2022年3月8~9日, テルアビブ)

化学、石油化学、石油精製、製薬、バイオテクノロジー、食品、洗剤、化粧品、エコロジー、鉱物、肥料、雑草・害虫駆除、塗料、添加物産業のための技術・器具・サービスの展示会。今回17回目の開催。

<https://www.stier.co.il/israchem/en/>

スタートアップ° 2022 OURCROWD GLOBAL INVESTOR SUMMIT

(2022年3月9日, エルサレム/オンライン)

エルサレムのクラウドファンディング型 VC である OurCrowd による年次イベント。OurCrowd の投資先を中心としたスタートアップと投資家が一堂に会する大規模なイベント。2020 年は 186 か国から 23,000 人の登録があったとされる。

<https://summit.ourcrowd.com/>

実験器具 ANALIZA (2022年5月16~17日, テルアビブ)

産業用実験施設向けの技術・器具等の展示会。重工業や製薬産業向けの実験施設向けの器具・測定機器、クリーンルーム、ドラフトチャンバーやフィルターを扱う。

<https://www.stier.co.il/analiza/en/>

投資 TEL AVIV ANNUAL INSTITUTIONAL

INVESTMENT CONFERENCE (2022年6月, テルアビブ)

数百の機関投資家が集まる国際会議。

<https://tlvii.com/>

デジタルヘルス DIGITAL HEALTH.IL (時期未定)

デジタルヘルスに関するカンファレンス。スタートアップのコンテストも開催される。EY, ARC (シエバメディカルセンターイノベーションセンター), Israel Advanced Technology Industries が主催。過去 5 年では、毎回 700 名以上の参加者があった。

<https://digitalhealth-il.com/>

UX UX SALON 2020 (時期未定)

UX デザイナーによるコミュニティである UX Salon の年次イベント。ネットワーキングと講演を目的とする。

<http://2020.uxsalon.com/>

イノベーション LAHAV EXECUTIVE EDUCATION（通年，テルアビブ等）

テルアビブ大学のビジネススクール Lahav Executive Education Coller School of Management が実施するイノベーションを学ぶツアー。概ね1週間のプログラムで、個別のニーズに応じたイノベーションツアーを実施。

<https://www.lahav.ac.il/en/home>

日本におけるイスラエル関連イベントの今後の予定

※イベント会議の詳細情報については、各イベント事務局のウェブサイトを御覧ください。

NEW!食品 Webinar : APAC 市場向けイスラエル産代替プロテイン (2021年8月19日、オンライン)

本イベントでは、新しい代替タンパク質を開発したイスラエルの最先端のスタートアップ企業6社と、イスラエルの現場で活躍する著名なスピーカー2名が参加。APACのフードテック・エコシステムに属する食品メーカー、起業家、投資家、周辺組織が一堂に会し、代替タンパク質技術の可能性を探る。

現在、イスラエルの代替タンパク質分野では、40社以上のスタートアップ企業が活動しており、その画期的な技術は、私たちのタンパク質源の未来を形作る可能性を秘めている。2018年から2020年にかけて、イスラエルのAlternative Proteinスタートアップへの投資額は8倍に増加し、2018年の1,400万ドルを皮切りに、2020年には1億1,400万ドルにまで拡大。

また本イベントでは、専門チームがスタートアップ企業や講演者と1-1のミーティングを行うことができる。

イスラエル経済産業省主催。

<https://israel-keizai.org/events/event/novel-israeli-alternative-proteins-for-apac-markets/>

NEW!スタートアップ° 大好評・新著「イスラエルビジネスガイドブック」著者2名に電撃インタビュー × Startup Grind Fukuoka 第10回 (2021年8月29日、オンライン)

本イベントでは、「イスラエルビジネスガイドブック」著者 田中真人氏、栗田宗樹氏に対して、イスラエルのスタートアップエコシステムから日本への示唆やシリコンバレーよりイスラエルが熱い理由、日本企業がイスラエル企業とどうオープンイノベーションを起こせるかなどについて、インタビューを行う。

Startup Grind Fukuoka 主催。

<https://www.startupgrind.com/e/m24hsj/>